

ゴイサギ（サギ科） 全長 57 センチ

田園交流都市を標榜する大仙市は、田植え後約 2 カ月が経過した。

順調に伸びた苗は、広大な田んぼを見渡す限り緑色に染め上げました。誰もいない田んぼの中、何か所かに白い点が目に入った。ダイサギやアオサギ、ゴイサギが餌を求めてやってきたものです。

今、サギ類は子育ての時期を終えたところで、幼鳥や若鳥を伴い餌場にやって来たのでしょうか。神宮寺の雄物川河川敷にはサギ類のコロニーがあります。アオサギ、ダイサギ、ゴイサギの巣が約 50 か所にも及び、毎年繁殖を繰り返してきました。ここから雛を引き連れやってきたのでしょうか。



動かないとペンギンと似ている？。

中でもゴイサギが一番小さく、田んぼの中に立つと大部分が苗に隠れてしまい、頭部しか見えません。成鳥の後頭からは白くて長い冠羽が伸び、センスのいいスタイルです。こうしたサギ類が集まる田んぼには、蛙やミミズなどが生息していることでしょう。



左のゴイサギは冠羽がありませんが、若鳥とされます。



こちらの若鳥には冠羽がみえます。

自然に優しい減農薬、無農薬栽培農法が広まり、昆虫や魚類などが増えてきました。田んぼでは、野鳥も安心して餌を食べることが出来るのでしょうか。



赤い目が特徴。



颯爽と飛び出すと、小型飛行機にみえました。